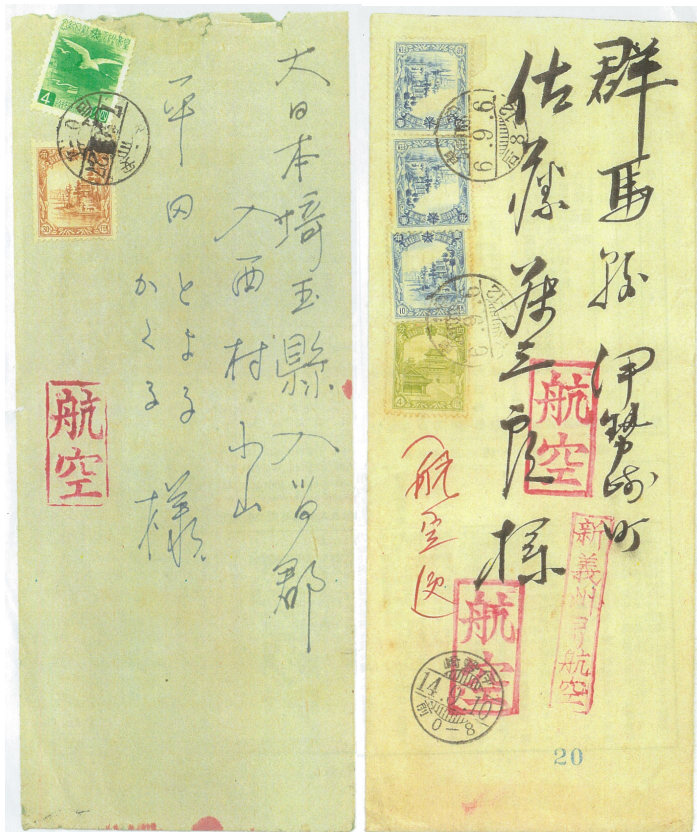


満州航空郵便の特例料金の使用例

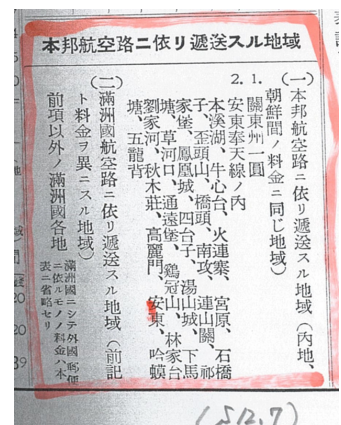
このテーマは未だ発表はされていないと思う。数十年前ある切手商から左記①のようなエンタィアを入手した。「新義州ヨリ航空」というスタンプが気になったからである。当時は満州国から内地宛は39分であるが朝鮮からの内地宛は34銭であった。新義州には朝鮮の飛行場があり、当然航空郵便はひんぱんに使用されていたはずなので満州国でも鴨緑江をはさんで安東地区発の郵便物は新義州経由で配達したはずで満州国郵政は良心的に安東地区から内地宛の郵便物は34銭としたと考えました。これに関する資料はすぐにでも見つかりそうであったがやっと1枚の印刷物が見つかり、それが②で昭和12年4月改正の実業の日本社の「郵便の知識」のおりこみの1枚からこの事実が判明した。その後安東からのエンタをもう1通入手したがこれは「新義州ヨリ航空」のスタンプはないが料金は同じく34分となっている。

逆に日本から安東地区宛の昭和12年4月以降のエンタィアを見たいものである。

秋吉 誠二郎



①



②